

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
TEL.011-851-2333

かしわば

vol.43
2015.11

脳梗塞は10代でも20代でも起こります 若年性脳梗塞

初期症状を見逃さずすぐに脳神経外科を受診しましょう

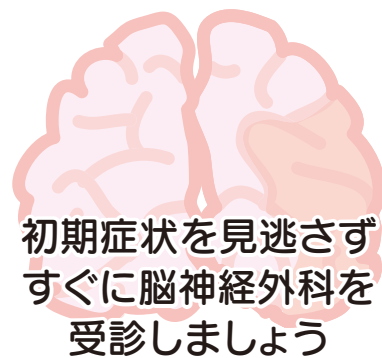
副院長・脳卒中診療部長

吉本 哲之



脳梗塞は
10代でも
20代でも
起こります

若年性 脳梗塞



初期症状を見逃さず
すぐに脳神経外科を
受診しましょう



副院長・脳卒中診療部長 吉本 哲之

【認定医・専門医】
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
医学博士

【現在の主な役職】
日本脳循環代謝学会評議員
北海道脳卒中研究会世話人

若い世代に起こる脳梗塞は全体の10%弱を占め、年間約1万人が発症しています。高齢者が脳梗塞になる原因は生活習慣病による動脈硬化や老化ですが、若年者の場合は「何らかの異常」が関与することが多いのが特徴です。

高齢者と異なる 若年性脳梗塞の原因

脳梗塞は動脈硬化によって起こることが多いため、高齢者に多い疾患ですが、おおむね50歳未満の場合は「若年性脳梗塞」と分類されています。脳卒中は10代でも20代でも起き得る疾患ですが、「若いから」という理由で診断が遅れ、重い後遺症が残るケースが見られます。

若年性脳梗塞の原因には動脈硬化以外に何らかの原因疾患があることが多いため、発症した場合には「若いから」といって放置しないことが大切です。

初期症状を見逃さずに 専門的な精密検査を

脳梗塞の初期症状には、突然のめまいやふらつき、強い頭痛などがあります。こうした症状が「一過性脳虚血発作」であれば、多くの場合は数十分で解消されることから、「治った」「もう大丈夫」と見逃してしまいがちです。

また、メニエール病を疑って耳鼻科へ行ったり、血圧の異常を疑って内科を受診するなど、危険な状態のまま適切な治療が行われずにいると脳梗塞を発症し、命は取り留めても片麻痺や半身麻痺などの後遺症が残ることがあります。

疑わしい症状が出現したら、真っ先に「脳の血管の状態を詳しく確認できる検査」ができる脳神経外科を受診し、専門的な精密検査を受けましょう。早い段階で診断し、適切な治療を受けることができれば、後遺症を残さずに治療することが可能になります。

ゼネラル・エレクトリック社製 「磁気共鳴断層撮影装置(MRI)」

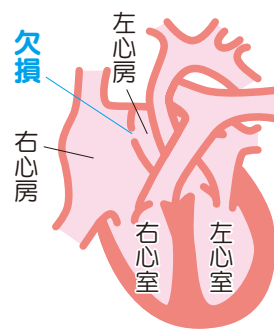
当院には3台の装置があり、2台が1.5テスラで、1台が3テスラです。今年の春に導入した3テスラの装置は「血管の状態」を詳しく観察することができ、精度の高い診断につながっています。



若年性脳梗塞の原因になり得るもの

奇異性脳塞栓症

心房中隔欠損症を有している場合に、静脈で生じた血栓が右心系から左心系に流入し**脳梗塞**を発症することがあります。心房中隔欠損症とは、生まれながらに右心房と左心房に穴(欠損孔)が開いているため、左心房から右心房に血液が流れ込み、さまざまな症状を起こす先天性の心疾患です。症状が出ないと気づかれないこともあり、成人の約20%に欠損孔が残っているとされています。



脳動脈解離

脳の血管の壁がはがれることで血管が狭くなり、詰まってしまうと**脳梗塞**を起こし、血管が外側に膨れて破れると**くも膜下出血**を起こします。脳の血管がはがれる原因ははっきりと分かっていませんが、はがれる痛みは強い頭痛となって現れます。片頭痛だと思っていたら、脳動脈解離の痛みだったという場合もあります。脳動脈解離は、MRIを使った丁寧な検査で見つけることが可能です。強い頭痛がある場合は、脳神経外科での専門的な検査を受けることをおすすめします。

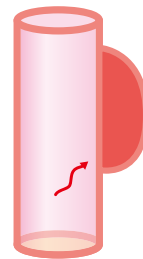
梗塞型

血管が狭くなり、**脳梗塞**を起こす



くも膜下出血型

外に膨らみ出血し、**くも膜下出血**を起こす



抗リン脂質抗体症候群

免疫異常による関節リウマチや全身性エリテマトーデス(SLE)などの患者さんは、血液が固まりやすいことが分かっています。できた血栓が血管内を流れて移動し、脳の血管に詰まると**脳梗塞**を起こします。

ホルモン補充療法

子宮内膜症などで女性ホルモンのエストロゲン投与の治療を受けている20代、30代の女性が**脳梗塞**になるケースがあります。エストロゲンの止血作用が要因の一つと考えられています。

症例

22歳 男性

主訴 突然のふらつき

診断 通常の心エコーでは異常が確認できませんでしたが、さらに詳しい検査を行い、心房中隔欠損症を原因とする「小脳の脳梗塞(奇異性脳塞栓症)」と診断

治療 抗凝固薬(血液が固まらないようにする薬)の服用を開始
※場合によっては、心房中隔欠損症を治療する外科的開心術が必要になります



第5回 Clinical Skill Up Meeting を開催しました

2015年6月26日(金) 札幌パークホテル



テーマ：HALとMUROを用いたニューロリハビリテーション

当院では吉本副院長が中心となり、北海道大学脳神経外科・寶金清博教授にご参加いただき、年1回、近隣の医療機関に参加を呼びかけ、スキルアップミーティングを行っています。2015年のテーマは、ロボットスーツHALや低周波治療器MUROを用いたニューロリハビリテーションで、脳卒中後の機能回復に向けた取り組みを発表しました。

当院の山口日出志医師は「医師とリハビリテーションスタッフが専門的な

知識を共有し力を合わせて『脳の可塑性を促す環境をつくる治療』に取り組み、後遺症の軽減に力を注ぎたい」と言葉に力を込め、武田祐貴理学療法士は「経験による格差がHALを使ったりリハビリテーションに生じないように体制を整え成果を上げた」と報告。また、坂野智哉作業療法士は「MUROを使ったりリハビリテーションは急性期にも回復期にも効果があった」と新分野の高い可能性を改めて示しました。

金子貞男理事長は閉会の挨拶で「当

院では数年前からニューロリハビリテーションにチームで取り組み、患者さんのADL（日常生活動作）の回復を支援しています。まだ新しい分野ですが、地域の医療機関の皆様とともに学びスキルを高めながら治療に生かしていきたい」と参加した医療者に呼びかけました。

演題



脳卒中後機能回復に向けたニューロリハビリテーション紹介

脳神経外科 医長
山口 日出志



Hybrid Assistive Limb (HAL)を用いた理学療法～運用と期待される効果～

リハビリテーション科
理学療法士 武田 祐貴



MUROソリューションを用いた片麻痺上肢機能へのアプローチ

リハビリテーション科 主任
作業療法士 坂野 智哉

私たちの考えていること

柏葉脳神経外科病院

病院の理念 私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院 診療科目 脳神経外科・神経内科・精神科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

外来診療の受付時間

診療科目	曜日	受付時間
脳神経外科	平日	8:40～12:00 13:30～16:30
	土	8:40～12:00
神経内科[予約制]	平日	8:40～12:00
	土(隔週)	8:40～12:00
精神科[予約制]	火～木	8:40～12:00 13:30～16:30
	月	8:40～11:30
循環器内科	火・水・金	8:40～12:00
	木	13:30～16:30
	土	8:40～12:00

脳ドック[予約制]

火・木曜 ①13:30 ②14:00

専門外来[予約制]

- 脳動脈外来…火曜 午後
- 物忘れ外来…火曜 午後
- 脊髄外来…木曜 午後・金曜 午前

予約電話番号 011-859-5636 (月～金)



救急指定病院 救急患者さんは、診療日・診察時間を問わず24時間診察いたしております